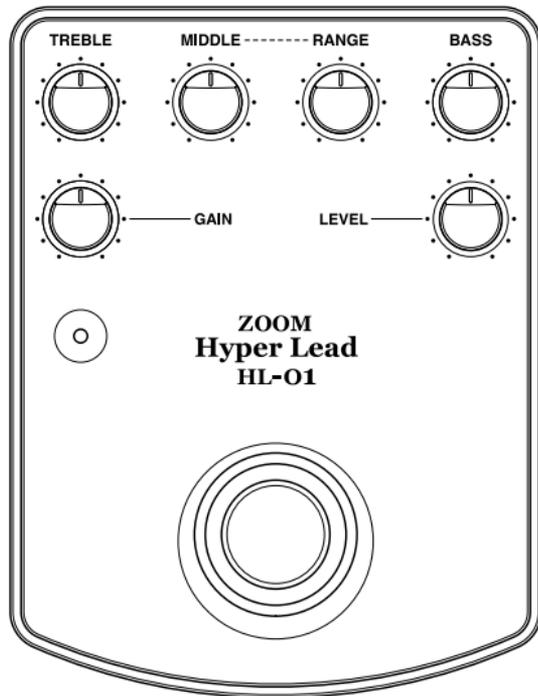




Hyper Lead HL-01 オペレーションマニュアル



目次

特長	2
各部の名称と機能	4
接続方法	6
サンプルセッティング	8
他のコンパクトエフェクターとの接続例	10
マルチエフェクターとの接続例	11
故障かな?と思ったときは	12
主な仕様	14
使用上のご注意	15
安全上のご注意	16

特長

このたびは**ZOOM Hyper Lead HL-01**（以下“**HL-01**”と呼びます）をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。HL-01は、ズームがアナログ回路に徹底的にこだわり、長期にわたって世界中のプロミュージシャンの意見を取り入れながら開発した、高性能コンパクトディストーションです。この製品は、次のような特長を備えています。

◆ スムースで芯のあるハイゲインサウンド

新開発のトリプルゲインを採用したアナログ回路を搭載。リードからバックングまで、用途や奏法を選ばない万能のディストーションです。ギターサウンドの要といえる中音域に徹底的にこだわり、自然でなめらかな歪みと、芯のある太いサウンドを実現しています。

◆ 効きの強い即戦力の3バンドイコライザー

イコライザーはTREBLE、MIDDLE、BASSの3バンド構成。さらにMIDDLEバンドには、周波数可変のパラメトリックタイプを採用し、個々の楽器特有の“おいしい”帯域を持ち上げたり、他の楽器音と重なる帯域を抑えたりと、音色を自在にコントロールできます。また、TREBLEとBASSは、サウンドのヌケや音圧をコントロールしやすいようにチューンナップされています。

◆ 驚異のローノイズ設計

設計段階から部品を徹底的に選別。ノイズリダクション回路を持たない歪み系エフェクトとしては、驚異的な低ノイズを実現しています。

◆ 音質劣化のないメカニカルスイッチとTRUE BYPASS

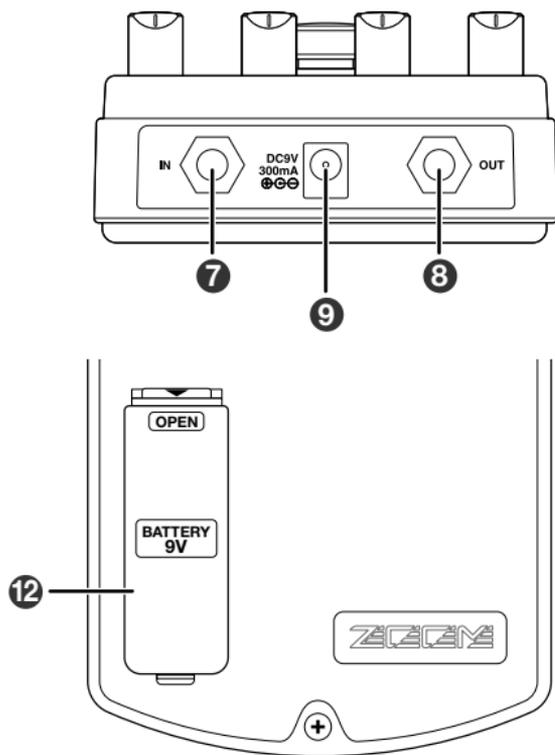
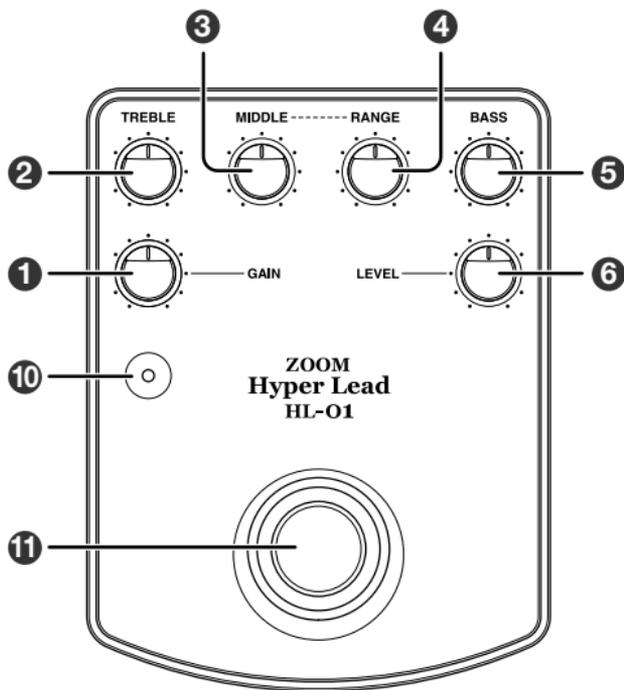
メカニカルタイプのスイッチを採用。オン／オフ切り替え時に、確実なレスポンスが得られます。メカニカルスイッチを採用する事で、ギター本来の信号を損なわないバイパス音を約束します。

◆ 頑丈な金属シャーシを採用

高級感にあふれ、耐久性にも優れたアルミ製の堅固なシャーシを採用。ライブステージや移動中に、多少手荒い扱いを受けてもビクともしません。また、安定性に優れたデザインにより、演奏中に横転する心配もありません。

各部の名称と機能

各部の名称と機能を説明します。



① GAIN (ゲイン) コントロール

ディストーションのゲイン(増幅量)を調節するノブです。このノブを上げるほど、歪みが強くなります。

② TREBLE (トレブル) コントロール

高音域の音質を調節するノブです。右方向に回すほど高音域が強調されて、硬くシャープな音質となります。

③ MIDDLE (ミドル) コントロール

中音域の音質を調節するノブです。右方向に回すほどRANGEコントロール(④)で設定した周波数帯が強調され、左方向に回すほど減衰します。

④ RANGE (レンジ) コントロール

MIDDLEコントロール(③)で調節する周波数帯を設定します。

⑤ BASS (ベース) コントロール

低音域の音質を調節するノブです。右方向に回すほど低音域が強調されて、太いサウンドになります。

⑥ LEVEL (レベル) コントロール

OUT端子から出力されるレベルを調節するノブです。このノブを上げるほど、出力レベルが上がります。

⑦ IN (イン) 端子

ギターからの信号を入力する入力端子です。この端子にプラグを差し込むと、電源が入ります。

⑧ OUT (アウト) 端子

アンプなどの機器に信号を送る出力端子です。

⑨ ACアダプター端子

本機をACアダプターで使用するとき、ACアダプターのプラグを接続する端子です。ACアダプターは、必ず専用のタイプ(ZOOM AD-0006)をご使用ください。この端子から電源が供給されているときは、IN端子の状態とは無関係に、常に電源がオンとなります。

⑩ インジケーター

エフェクトをオンにしたときに、このインジケーターが点灯します。また、電池が消耗していると、点灯が暗くなります。

⑪ フットスイッチ

エフェクトのオン/オフを切り替えるメカニカルタイプのフットスイッチです。

⑫ バッテリーボックス

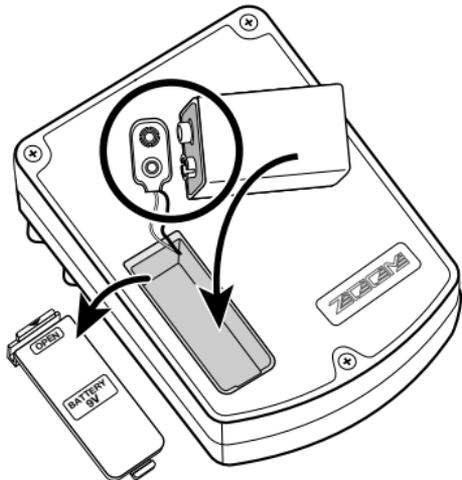
電池(006P 9V)を収納するスペースです。

接続方法

ここでは、HL-01の接続方法や接続の順番を説明します。

1 バッテリーボックスを開けて、電池を取り付ける

電池の極性(プラス/マイナス)を逆にしないようご注意ください。



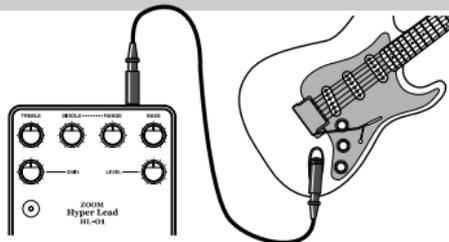
2 アンプの電源をオフにしてからギターにケーブルを接続する



ギターのジャックにプラグがしっかりと差し込まれていることを、確認してください。

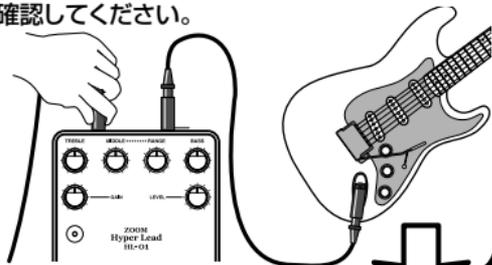
3 ケーブルのもう一方のプラグをHL-01のIN端子に接続する

IN端子にプラグが差し込まれると、HL-01の電源がオンになります。



4 HL-01のOUT端子に別のケーブルを接続する

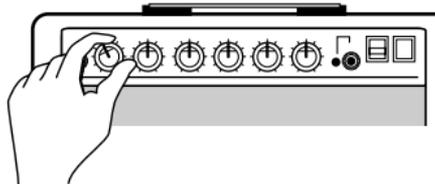
プラグがしっかりと差し込まれていることを、確認してください。



6 アンプの電源を入れ、ボリュームを上げる

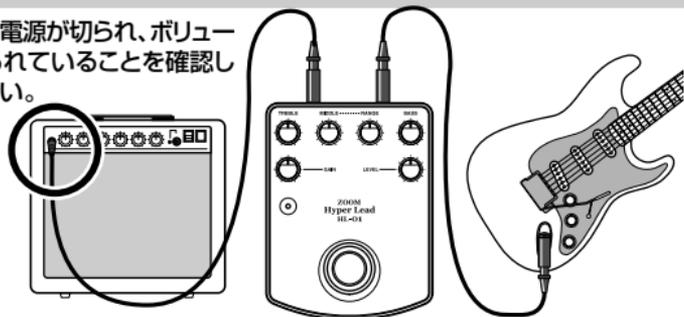
アンプの電源を入れて、適切な音量が得られるように

- ①ギターのボリューム、②HL-01のLEVELコントロール、
- ③アンプのボリュームの順に上げていってください。



5 ケーブルのもう一方のプラグをアンプに接続する

アンプの電源が切られ、ボリュームが絞られていることを確認してください。



注意！

順番を逆にしないこと！

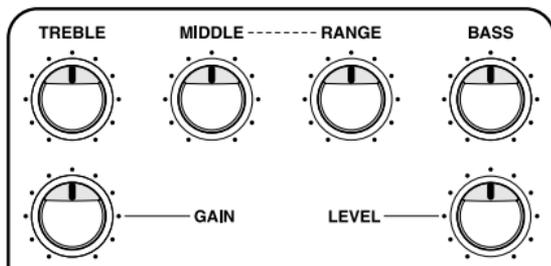
電源を入れる順番やボリュームを上げる順番を逆になると、アンプやスピーカーが損傷を受ける恐れがあります。

サンプルセッティング

ここでは、実践的なセッティング例を紹介します。

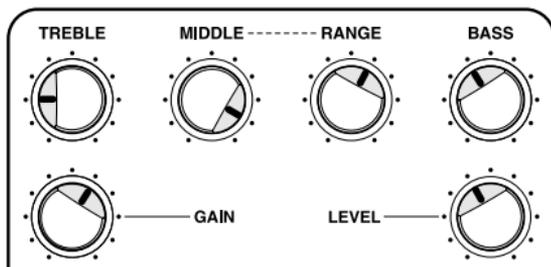
※ 基本的に、アンプ側ではあまり深く歪まないように、アンプのゲインやドライブコントロールを調節してください。

※ エフェクトオン時とバイパス時のレベル差を調節するには、HL-01のLEVELコントロールを使ってください。



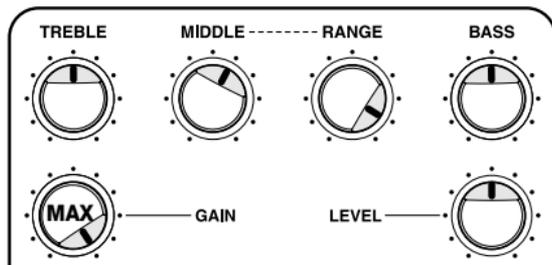
■ オールマイティに使えるドライブサウンド

すべてのコントロールを中央に合わせた、HL-01のスタンダードなドライブサウンド。リードソロからリズムバッキングまで、幅広い用途に使えます。



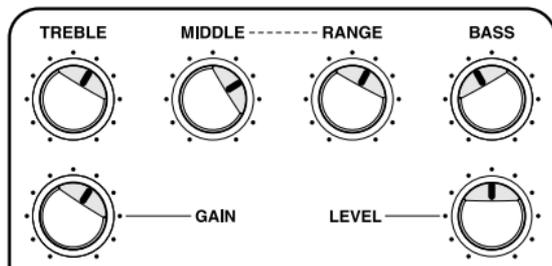
■ 中音域を強調した“ペダルワウ半開き”風サウンド

TREBLEコントロールとBASSコントロールをやや下げ、MIDDLEコントロールを持ち上げて中音域を強調しています。ペダルワウを途中まで踏み込んだような、独特のピーキーなサウンドが得られます。MIDDLEコントロールとRANGEコントロールを使って、最も“おいしい”音域が強調されるように調節するといいでしょ。



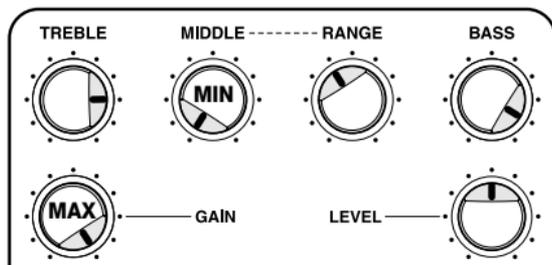
■ 存在感のあるファットサウンド

GAINコントロールを最大まで持ち上げ、中高音域をやや強調した、ヘビーなディストーションです。深く歪ませても、音像が崩れることはありません。太くて存在感のあるサウンドは、リフやリズムギターに最適です。楽器の特性に合わせてMIDDLEコントロールとRANGEコントロールを調節してください。



■ 速弾きに最適! 高速レスポンスのリードサウンド

BASSコントロールを抑え、TREBLEコントロールを上げて、ヌケのいいサウンドを実現しています。レスポンスが速く、高速なピッキングにも追従するので、リードソロに最適です。楽器の特性に合わせてTREBLEコントロールを調節してください。また、クランチ風のニュアンスが欲しいときは、GAINコントロールを下げるといいでしょう。



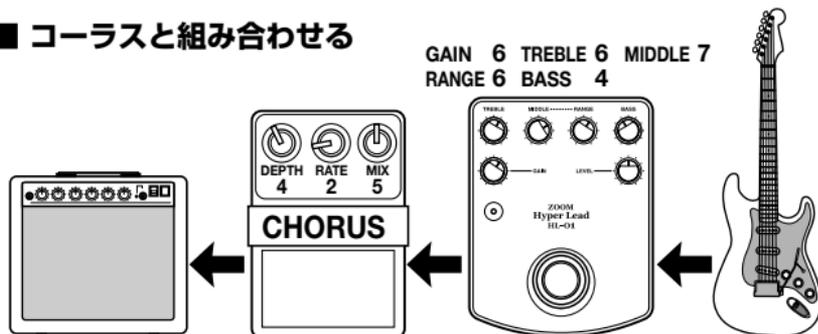
■ 中音域をカットしたドンシャリサウンド

TREBLEコントロールとBASSコントロールを持ち上げて中音域をカットした、いわゆる“ドンシャリサウンド”です。リズムギターやパワーコードにも最適。音色のニュアンスを変えたいときは、RANGEコントロールを調節してください。

他のコンパクトエフェクターとの接続例

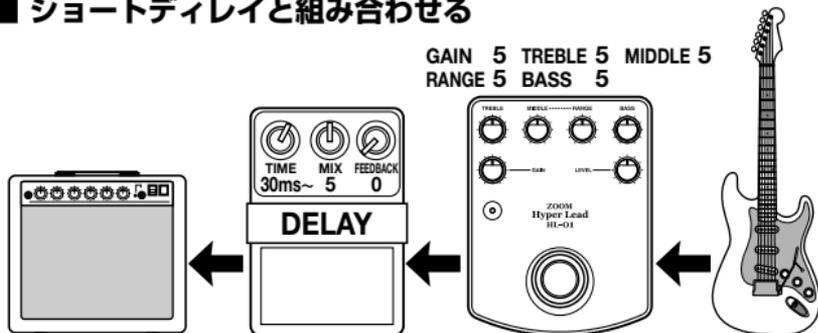
ここでは、HL-01を他のコンパクトエフェクターと組み合わせた場合のセッティング例を紹介します。

■ コーラスと組み合わせる



コーラスのモジュレーション(デプス)は浅めに、レイト(スピード)はやや遅めにして、サウンドに軽いウネリと広がり感を加えています。コーラスによる変調感が強くなり過ぎないように注意。LAロック風のギターソロやアルペジオに最適です。

■ ショートディレイと組み合わせる

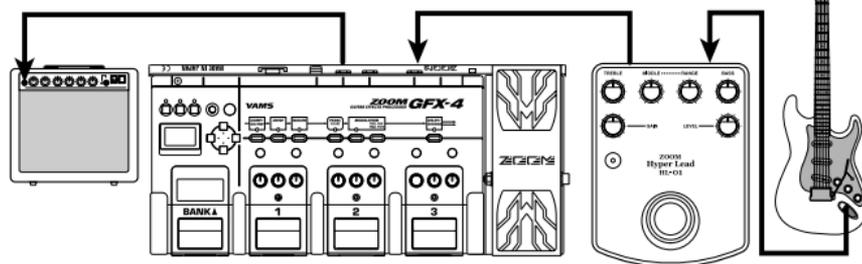


ディレイタイムの短いシングルディレイをミックスして音に厚みを加えています。ディレイタイムは30~40mSec程度に設定し、ディレイ音のレベルを原音よりも若干下げるといいでしょう。リフやソロ演奏に向いています。

マルチエフェクターとの接続例

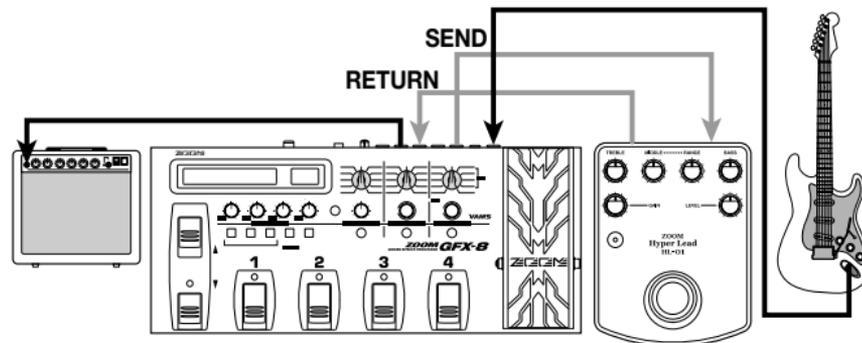
ZOOM GFX-4やGFX-8などのマルチエフェクターとHL-01を組み合わせた場合のセッティング例です。

■ マルチエフェクターの前に接続する



HL-01→マルチエフェクター→アンプの順に接続した例です。この場合、歪みの効果はHL-01側で作成し、マルチエフェクターの歪み系エフェクトはバイパスさせます。

■ マルチエフェクターの SEND / リターン に接続する



ZOOM GFX-8など、SEND / RETURN端子を装備したマルチエフェクターと併用するときは、HL-01をマルチエフェクターのSEND / RETURN端子に接続します。こうすれば、HL-01をマルチエフェクターの一部として扱うことができ、パッチごとにオン / オフを切り替えることが可能となります。

故障かな？と思ったときは

「故障かな？」と思ったときは、販売店に修理をご依頼になる前に、以下の各項目をご確認ください。

◆ 音が出ない

- IN端子とOUT端子が逆に接続されていませんか？
ケーブルの接続を確認してください。
- 電池が消耗していませんか？
電池を新品に交換してください。
- ACアダプターの接続は適切ですか？
ACアダプターが正しく接続されているかを確認してください。
- ギター／アンプのボリューム、HL-01のLEVELコントロールが絞られていませんか？
ギター／アンプのボリューム、HL-01のLEVELコントロールを上げてください。

◆ 「ジージー」「シューワー」といったノイズが気になる

- 歪み系エフェクターを複数かけていませんか？
歪み系エフェクターやコンプレッサーのかけ過ぎは、ノイズの原因となります。使用する間だけ、オンに切り替えるようにしましょう。
- 良質のケーブルを使っていますか？
粗悪なケーブルや長すぎるケーブルはノイズや音質劣化の原因となります。良質で短めのケーブルに交換してください。
- 近くにテレビ、コンピューターのディスプレイ、冷蔵庫、蛍光灯、モーターはありませんか？
これらの機器の近くで使用すると、ギターやケーブルを通じてノイズが混入する場合があります。十分離してご使用ください。

- 指定以外のACアダプターを使っていませんか？
必ず専用のACアダプター (AD-0006) をご使用ください。

◆ 電池の消耗が早い

- IN端子にプラグを挿入したままにいませんか？
HL-01のIN端子にプラグを差し込むと自動的に電源が入り、エフェクトのオン／オフとは無関係に電池を消耗します。使用しないときは、必ずIN端子からプラグを抜いてください。
- マンガン電池を使用していませんか？
アルカリ電池に交換してください。また、付属の電池はチェック用のため、寿命が短いことがあります。HL-01をエフェクトボードなどに固定する場合は、ACアダプター (AD-0006) の使用をお勧めします。

◆ 歪みが弱い／音のヌケが悪い

- 本体やギターのコントロール類は適切ですか？

HL-01のGAIN、TREBLE、MIDDLE、RANGE、BASSの各コントロールを調節してみてください。また、ギターのボリュームやトーンを最大に上げてみてください。

- 他のエフェクターを使用していませんか？

HL-01を他のエフェクターと併用しているときは、そのエフェクターの電池、ボリューム、エフェクト設定を確認してください。

◆ 思うようなサウンドが出せない

- コントロール類を極端な設定にいませんか？
最初はすべてのコントロールを中央に設定し、そこから微調節していくことをお勧めします。
- 奏法は適切ですか？
耳に聞こえてくる音は、エフェクター、ギター、アンプといったハードウェアだけでなく、奏法にも大きく影響されます。希望するサウンドに近付くように、ピッキングの位置やフィンガリングの方法を工夫してみましょう。

主な仕様

コントロール	フットスイッチ	
	GAIN (ゲイン) コントロール	LEVEL (レベル) コントロール
	TREBLE (トレブル) コントロール	BASS (ベース) コントロール
	MIDDLE (ミドル) コントロール	RANGE (レンジ) コントロール
インプット	標準モノラルフォンジャック	
	入力インピーダンス	470K Ω
	定格入力レベル	-20dBm
アウトプット	標準モノラルフォンジャック	
	出力負荷インピーダンス	10K Ω 以上
	最大出力レベル	+10dBm
電源	電池 (006P、9V) または ACアダプター AD-0006 (DC9V / 300mA、センターマイナス)	
電池寿命	連続使用 約26時間 (アルカリ) / 約8時間 (マンガン)	
外形寸法	127 (D) \times 98 (W) \times 48 (H) mm	
重量	720g (電池含む)	
付属品	取り扱い説明書	※ OdBm=0, 775Vrms
	愛用者カード / 保証書	※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更 することがあります。
	電池 (006P、9V)	

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

HL-01は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。

しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。

そのような場合は、HL-01と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。

お手入れについて

HL-01が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼってふいてください。

クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにIN端子に接続されているケーブルのプラグかACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。

「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味はつぎの通りです。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について



● 本製品は、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池の使用をお薦めします。

警告 ACアダプターによる駆動

- ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA(ズームAD-0006)をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

- 市販の9V積層乾電池006P(アルカリ/マンガン)をお使いください。
- HL-01は充電機能を持っていません。乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をHL-01から取り出してください。
- 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ご使用の際は、必ず電池ボタンを閉めてください。

使用環境について



HL-01をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。

- 温度が極端に高くなる所や低くなる所
- 湿度が極端に高い所
- 砂やほこりの多い所
- 振動や衝撃の多い所

取り扱いについて



- HL-01は精密機器ですのでフットスイッチ以外のスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。
- HL-01に異物(硬貨や針金など)または液体(水、ジュースやアルコールなど)を入れないように注意してください。
- ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフにしてから行ってください。
- 移動させる場合は一旦電源をオフにして必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

改造について



- ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

ZOOM[®]
CATCH US IF YOU CAN

株式会社 ズーム

〒183-0022 東京都府中市宮西町2-10-2ノアビル1階
TEL: 042-369-7111 FAX: 042-369-7115
ホームページ <http://www.zoom.co.jp>

Printed in Japan HL-01-5010-2